

北総鉄道訪問

とき：180226 13:00

ところ：北総鉄道本社

対応者：深澤弘一課長（企画室）ほか1名

訪問者：太田、亀倉、土屋、篠野、北田、津島、高橋、間嶋

内容：13時前から玄関内に2名の方が待機、13時にドアを開けると、中へは入れないという意志がありありで、文書は受け取る。当方は「27年と28年に出した質問に、2回とも文書回答を貰っている。今回もきちんと文書回答をされたい」と要求。先方は「要請書をよく検討して対応する。3/5までというのは難しいかも知れない」と返答。今後の折衝の相手方の窓口は深澤弘一課長、当方の窓口は間嶋事務局長とすることを確認。10分程度で切り上げる。車が駐車場を出るまでしっかりと見張られた感じ。

千葉県知事への要請

とき：180226 16:00～17:05

ところ：千葉県議会第一委員会室

対応者：陣野正美（鉄道事業室長）鈴木真（交通計画課副課長）天野真（鉄道事業室主査）

訪問者：太田、亀倉、土屋、篠野、北田、津島、高橋、間嶋

傍聴(仲介)者：丸山県議、藤代県議

取材：千葉日報（坂巻）、赤旗（前田）

質問要請文書についての回答

陣野 ①議会で藤代議員にも答えたが、鉄道事業法に基づき国交省が認可したものであり、その変更については事業者間で協議すべきものだ。②県からの天下り職員に線路使用料を見直せと言わせよと言う点は、県の退職者も北総鉄道の株主総会で取締役を選任されており、自己の判断で業務を遂行するものとする。

太田会長 株主として22%の株式を保有していて、第3セクターだ。県は県民のために出資したはず。

当事者としての立場があるだろう。運賃全額渡すなどは看過できない。適切な線路使用料に改訂すべきだとは誰もが思うはず。納得がいかない。

陣野 国交省の認可を得ているから適正と考える。

丸山 県が株主として関与しているじゃないか。

亀倉 要請書のポイントを補足したい。県は、一貫してよそ事として対応している。担当者としてどう考えているのか確かめたい。北総線中の40%にあたるCNR区間を運行しながらそこから1円も北総には入らない。逆に10億円もの持ち出しだと言うことを丸山議員が議会で指摘された。H17年には17億円だった線路使用料がH27には25億円だ。CNRを利用する比率は44/56なのに、線路使用料は3.5億/25億だ。不公正と思わないのか。線路使用料が運賃相当額だという協定にどんな理由があるのか説明してくれ。事業者同士で決めれば認可する、認可されているからと言うだけでは説明になっていない。責任のすり替えだ。累積欠損が11億円のCNRにたいして北総の欠損は121億円。どうして欠損の少ないところへ援助しなければならないのか。県は資本金に55億円、CNR施設取得に当たり43億円援助し、北総にはその他53億円融資している。今年度浜本さんが北総へ天下りしたが毎年県からのポストが一つ確保されている。県として天下りの意義は何か。千葉県の立場で働いてもらうためではないのか。県議会決算委員会質問で野村交通計画課長は「親会社と子会社の役員が対等に線路使用料問題で議論ができると思うか」との質問に「適正な議論ができないことはない」と答弁しているが、だったら、正当な主張をさせればいいではないか。今日の話と違うじゃないか。あっちの人間だというのは変だろう。浜本さんに、取締役として線路使用料の改定を申し入れさせてくれ。

要請書前文の①②に関して

会：北総が CNR 区間で一円の利益もないと北総も答えているんだから議会答弁通り働かせてくれ。そして千葉ニュータウン鉄道との協定更新が諮られる取締役会でどう発言しているか議事録で確かめてくれ。昨年 9 月議会で質問された事業報告書がなく（取り寄せてもいない）国交省から取り寄せ中と言うのでなく、何時までに取り寄せるのか。そのうちではまずいだろう。（陣野：3 月中に入手できる）株主としての調査権をなぜ使わないのか。ちゃんとやってくださいよ（丸山）

同③に関して

陣野：線路使用料協定が運賃相当額となっているのだから、客が増えれば運賃も増えるのは仕方がない。国の認可したことであり適正と考えている。

北実会：適正という根拠は何か。事業者間での取り決めだからいいというのでなく、明らかに内容が不公平だ。株主としてどう考えるのか、チェックしてくれ。みなさんは県の交通政策スタッフなんだから県民のために株主権をどう使うかだ。事業者の声しか耳に入らないのでは困る。

藤代：先方が事業者間の協定だというのであれば 53 億をすぐ返してもらえばいい。北総には県も絡んで 22% 出資している。公共交通機関なんだから、事業者間でやってくれ、と言う話じゃないだろう。県税を納めているものとして訪ねている。みなさんが仕事をしているのかという問題だ。

丸山：適正というのは役所としての認識？あなた達の認識？

藤代：CNR に累積赤字があるというのなら京成にも運賃全額払わせなさいよ。

会：あなた達はデータも持っていないで何を根拠にどうして適正といえるのか。

陣野：それぞれ各社が協定していて国の認可もうけている。

丸山：経営状況の変化をもっと研究してくれ。

陣野：内容はわからない。国に聞いてみないと。

会：高い安いは認可の基準外。国の認可に高い安いは関係ない。

陣野：審査内容は確認する。

会：累積損失があるのに、利益を見逃す（CNR に運賃全額渡す）。それなのに県は平気なのか。北総の大株主として線路使用料の京成との格差の理由を解明してくれ。経営責任として会社がやらないのだから県がやってくれ。

丸山：あなた方は当事者でしょう。その立場で答えてくれ。時間がないのに黙られては困る。

陣野：県としては通常の管理はしている。

会：CNR を助けるというのが県の立場なのか。10 億円累損の会社に 25 億払っている。背任行為だ。

陣野：第 2 種事業として損得なしと会社から聞いている。

丸山：会社側からの話だけでなく財務諸表をみて判断してくれ。

時間がなくまとめに、次の諸点につき、会として念を押す。

- ・あらためて文書で回答すること 回答時期を県議さんに連絡してもらおう。
- ・今日の回答はどのセクションで決めたのか、何も答えていない。こちらは知事宛に出しているんだ。交通政策課の回答ではなく、もっと上で再検討して改めて話し合う場を持ってもらいたい。
- ・契約が 10 年間、と言うことについて県はどう責任を持つのか。株主としてどうなのか。当事者として考え決めるべきだ。株主としてのマイナス、県民のマイナス。スタッフとしてこれではまずいよと知事に進言してくれ。
- ・県がイニシアチブをとるべき問題。見直しするチャンスだ。

全員：ありがとうございました。

以上